

厚生労働科学研究費補助金（新興・再興感染症及び予防接種政策推進研究事業）
分担研究報告書

医療機関・施設における感染対策教育に関する研究

研究分担者 新居 晶恵 三重大学医学部附属病院 感染制御部 看護師長
研究協力者 松島 由実 岡波総合病院 看護部長

研究要旨

三重県内の高齢者施設等を対象に県下3箇所で感染対策研修会を開催した。県内232の高齢者施設に案内し、58施設（全体の25%）から99名の参加があった。講師・ファシリテーターは、三重県内に在職する感染管理認定看護師12名が勤めた。計2時間のレクチャー・演習・グループワークを行い、概ね高い評価が得られた。高齢者施設等を対象にした研修会の講師・ファシリテーターとしては、感染管理認定看護師が適任と思われるが、個々の看護師が地域全体を対象に研修会を継続的に実施することは難しく、感染対策地域ネットワークの枠組みを活用することは有用な手法の一つと考えられた。

A. 研究目的

三重県感染対策支援ネットワーク（MieICNet）では、平成28年度より地域連携の一環として高齢者施設等を対象に感染対策研修会を開催している。本研修会では、地域の感染管理認定看護師が高齢者施設等で勤務するスタッフへ直接感染対策を教育することを目的としている。本分担研究では、この枠組みを用い、他地域でも参考となる研修会の内容や運営方法を提示することが目的である。

B. 研究方法

平成30年度のMieICNet活動の一環として、三重県内3か所で開催する高齢者施設等感染対策研修会の準備から終了後までの活動内容をまとめ、アンケート結果等をもとに検証した。

C. 研究結果

研修会は、三重県内の高齢者施設に勤務する方や在宅ケア等に従事する方を対象とし、多くの方が参加できるよう、場所と日時を変え、三重県内の3病院で実施した。

1. 研修会の周知

研修会は三重県感染対策支援ネットワークが主催、三重県老人保健施設協会および三重県老人福祉施設協会が後援となり実施した。三重県内の老人保健施設64施設に対しては三重県老人保健施設協会より、また、老人福祉施設168施設に対しては、三重県の担当部局よりメールにて周知した。

2. 研修会の開催概要

①北勢会場

日時：平成30年10月20日（土）
13:00～15:00
場所：桑名市総合医療センター
参加者：41名
講師・協力者：感染管理認定看護師4名

②中勢会場

日時：平成30年10月14日（日）
10:00～12:00
場所：鈴鹿厚生病院
参加者：35名
講師・協力者：感染管理認定看護師4名

③伊賀会場

日時：平成30年10月28日（日）
10:00～12:00

場所：岡波総合病院

参加者：22名

講師・協力者：感染管理認定看護師4名



 三重県 高齢者施設等感染対策研修会 2018

「三重県感染対策支援ネットワーク (Mie Infection Control Network: MieICNet)」では、**高齢者施設や在宅ケアにおける感染対策とその向上を目指して、研修会を開催します。**知識や情報の習得、日頃の悩み解決にお役立てください。

A 日時 2018年**10月14日 (日)** 10:00~12:00
 会場 鈴鹿厚生病院 多目的ホール
 (鈴鹿市岸岡町589-2)

B 日時 2018年**10月20日 (土)** 13:00~15:00
 会場 桑名市総合医療センター 講堂
 (桑名市寿町3丁目)

C 日時 2018年**10月28日 (日)** 10:00~12:00
 会場 岡波総合病院 講堂
 (伊賀市上野桑町1734)

対象 三重県内の高齢者施設に勤務する方・在宅ケア等に従事する方
 (施設の種別、職種などは問いません)

講師 感染管理認定看護師

参加無料

日程と会場を交互3回開催いたしますので、ご都合に合わせてお申し込みください。研修内容はいずれも同じです。多数のご参加をお待ちしております(申込裏面)。

主催：三重県感染対策支援ネットワーク (Mie Infection Control Network: MieICNet)

<http://www.mie-icnet.org/>

三重県 高齢者施設等感染対策研修会 2018

項目	内容
レクチャー	感染対策の基本についてレクチャー 日頃の感染対策について確認しましょう
Q&A / 全体討議	日頃の疑問や悩みにお答えします 他施設との情報を交換しましょう

お申し込み方法 FAX (059-231-5704)

必要事項を記載し三重大学医学部附属病院 感染制御部 宛てにFAXしてください。
申込締切 2018年 10月5日 (金曜日)

参加申込 (選択必須)

	A (10月14日)	B (10月20日)	C (10月28日)
いずれかに○			
参加者名			
施設名			
住所 (施設)			
連絡先 (電話番号・FAX)	電話:	FAX:	

地区別担当責任者 (感染管理認定看護師・順不同)
 ● A【鈴鹿地区】 田畑恵美 (鈴鹿厚生病院)
 ● B【桑名地区】 伊藤和恵 (桑名市総合医療センター)
 ● C【伊賀・名張地区】 清野飛鳥 (岡波総合病院)
 MieICNet運営委員 (感染管理認定看護師・順不同)
 松原由実 (岡波総合病院) 垣内由美 (県立総合医療センター)

お問い合わせ先 三重大学医学部附属病院 感染制御部
 電話：059-231-5714 FAX：059-231-5704 担当：新居

図1 研修会パンフレット

3. 参加者の勤務施設 (市町別)

市町別の参加者の勤務施設の状況は以下のとおりである (表1・図表2)。

	老人保健施設	老人福祉施設	その他	合計
いなべ市	3	3		6
伊賀市	2	2	2	6
伊勢市		1		1
東員町			1	1
亀山市	4	2	2	8
桑名市	5	5	7	17
菰野町	2			2
四日市市	2	5	1	8

松阪市	3	5		8
川越町		1		1
多気町	1	3		4
大紀町	2			2
津市	13	7	5	25
東員町		2		2
飯南町	2			2
名張市			2	2
明和町		3		3
鈴鹿市			1	1
合計	39	39	21	99

表1 市町別の高齢者施設数・研修会参加施設数

(※) 施設数は、平成 31 年 3 月に三重県老人保健施設協会および三重県老人施設協会に加入している施設数である。



伊勢市	7	1	1	9
尾鷲市		4		4
鳥羽市	1	7		8
志摩市	4	4		8
御浜町		1		1
紀宝町		1		1
紀北町		1		1
大紀町		2	2	4
熊野市		4		4
参加者合計	14	70	99	180

図表 2：市町別参加施設数

地図上に示した数字は、市町別の参加施設数を表す。

	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	合計
東員町			3	3
桑名市		3	17	20
いなべ市		2	6	8
川越町		1	1	2
菰野町		1	2	3
四日市		7	8	15
鈴鹿市		0	1	1
亀山市		1	8	9
津市		13	25	38
伊賀市		1	6	7
名張市		1	2	3
松阪市		8	8	16
明和町		2	3	5
玉城町	1	1		2
度会町		3		3
飯南町			2	2
多気町		0	4	4
大台町		0		0
南伊勢町	1	1		2

4. 研修内容

3 会場で同一の内容とした。

- ・感染対策の基本に関するレクチャー
- ・個人防護具着脱の演習
- ・日常清掃についての技術デモンストレーション
グループワーク、質疑を含む情報交換

5. 日常清掃について演習の必要物品

- ・車いすやテーブル
- ・蛍光塗料・ブラックライト
- ・防護具（未滅菌手袋 L M S、ガウン、マスク）
- ・手指衛生用アルコール

5. 研修会開催にあたっての活動内容

平成 30 年度の研修会開催の準備から終了までの活動内容を以下に示す。ここでの事務局は、MieICNet 事業の委託を受けている三重大学病院の看護師をいう。

日時	内容
平成 30 年 8 月	高齢者施設等研修会担当する感染管理認定看護師による打ち合わせ。開催場所、日程、内容を協議し、内容を決定

9月	各地域で調整を行い、開催場所、日程を決定
9月18日	案内文書作成・後援依頼（事務局）
10月1日	講師・ファシリテーターへの依頼文发出（事務局）
9月20日	案内文書メール配布（三重県・老人保健施設協会） FAXでの参加登録開始（事務局）
10月1日	高齢者施設等研修会担当者と打ち合わせ。会場内のレイアウト、駐車場、懸垂幕、必要物品、アンケート、各会場の参加者人数等の情報共有、および、講師・ファシリテーター数の確認
10月5日	事前申し込み締め切り
10月14日	講師・ファシリテーターによる研修前打ち合わせ、および、研修会
10月20日	終了後の振り返り
10月28日	

6. アンケート結果

3会場合計で計99名の参加があり、うち92名からアンケートの回答を得た。職種は、看護師が51%と最も多く、介護福祉士19%、介護職9%の順であった。施設内の役割については、スタッフが36%と最も多く、感染対策担当者25%、リーダー（主任を含む）15%、管理者15%の順であった。講義に関しては、とても満足・まあまあ満足82%、演習に関しても、とても満足・まあまあ満足80%と、ともに好評であった。今後の研修内容としては、毎年同じ内容が良い19%に対し、毎年異なる内容が良いが48%であった。

D. 考察

MieICNet事業の一環として、高齢者施設等を対象とした研修を企画運営している。初年度（平成28年度）は、伊勢志摩地区一カ所の実施であったが、平成29年度以降は、地域を考慮しながら三ヶ所で開催することにより、参加対象を

県下全域に拡大した。

三重県内に在職する感染管理認定看護師（日本看護協会都道府県別登録者一覧より）に講師やファシリテーター、また運営協力を依頼した。

三重県内の高齢者施設232施設に研修会の案内を周知し、58施設（全体の25%）から合計99名の参加があった。計2時間のレクチャー、演習、グループワーク等を実施し、概ね高い評価が得られた。

高齢者施設等において感染対策を教育・啓発していく上で、感染管理認定看護師の活用は不可欠である。しかしながら、個々の活動において地域の高齢者施設等を対象とした研修会を継続的に開催することが困難なことも現状である。その要因として、①院内業務や診療報酬で規定された地域連携以外の活動を自主的に行なうことは病院の管理運営上難しい、②高齢者施設等を網羅的に把握し、周知する手段がない、③パンフレット等の作成・印刷・配布や个人防护具等の必要物品の入手など事務的・金銭的な後立てがない、などが考えられる。

三重県においては、三重県医療保健部医務国保課が事務局となり、委託を受けた三重大学病院感染制御部が事務局機能の一部を担うことで、前述した問題点を克服し、県下全域へ周知を行い、3箇所での研修会を開催できた。また、各施設で伝達講習が行えるよう資料をウェブサイトで公開した（<http://www.mie-icnet.org/lecturedetail/878/>）（資料6）。

日本は、諸外国にないスピードで高齢化が進み、高齢者施設・在宅介護へのニーズが高まっている。医療現場と高齢者施設の間で患者が行き来するなかで、薬剤耐性菌が伝播する危険性、また、集団で生活する環境において、ノロウイルスやインフルエンザなどの集団発生の危険性があり、高齢者施設における感染対策の質的向上が急務である。このような施設で勤務する職員に対し、感染対策の実務的内容を教育する機会を提供

することは、AMR 対策の一環としても、今後重要になってくる。高齢者施設等における感染対策向上の一手法として、感染対策地域連携の枠組みを用いることは有用と考えられた。

内容については、感染対策の基本（標準予防策・感染経路別予防策）を中心としているが、アンケートからは、ブラッシュアップした内容を希望している参加者が多いことが分かった。

また、高齢者施設の職員構成を考えると、介護職に比較し看護師の参加割合が多いことが分かった。今後、研修会を継続していく上では、各施設で指導的立場となる看護師に対しては、より発展的な内容を提供する、一方で介護職が理解し実践できる内容を強化していくこと検討が必要である。また、グループワークを設けることで、他施設の現状を聞くことができ、情報共有の良き場となっていることも分かった。

E. 結論

三重県内全域を対象に3箇所が高齢者施設等研修会を開催した。県下全域の施設に研修会の周知を行うには、県の支援が必須であり、また運営事務局など実務的な役割を担う者が必要と考えられた。複数個所で開催しても、全施設の25%からの

参加にとどまったため、今後も全ての施設からの参加を働きかけるとともに、各施設で指導的立場にあたる看護師などに対しては、より発展的な内容の教育も必要と考えられた。高齢者施設に勤務する職員が1人でも多く本研修に参加し、三重県の感染対策の質が向上すること、さらにはAMR対策につながることを目指して引き続き活動を行なって行きたい。

F. 研究発表

1. 論文発表
なし
2. 学会発表
なし

G. 知的財産権の出願・登録状況

1. 特許取得
なし
2. 実用新案登録
なし
3. その他
なし